



報道関係者 各位

照 会 先	平成28年9月26日
	千葉労働局雇用環境・均等室
	雇用環境改善・均等推進監理官
	篠崎 和代
	室長補佐 佐藤 幸生
	電話 043-306-1860

ちばの魅力ある職場づくり公労使会議 開催

ちば「働き方改革」共同宣言

～働きやすさと働きがいのある雇用環境の実現に向けて～

を採択しました

ちばの魅力ある職場づくり公労使会議（座長 千葉労働局長 福澤義行）〈別添1〉は、本日、千葉県庁にて会議を開催し、ちば「働き方改革」共同宣言〈別添2〉を採択しました。

この宣言は、国、県、金融機関を含む経済団体及び労働団体で構成する会議が、千葉県における雇用の質の向上を図り、地方創生や県内経済の好循環につながる働き方改革を推進していくことを県民に向けて表明するものです。

今後、同会議では、この宣言を踏まえ、各構成員傘下の企業等に働きかけを行うとともに、連携して働き方改革によるワーク・ライフ・バランスや非正規労働者の処遇改善、職場における女性の活躍推進などに取り組んでまいります。



ちば「働き方改革」共同宣言

～ 働きやすさと働きがいのある雇用環境の実現に向けて ～

首都圏の一角に位置し、人口620万人(全国第6位)を擁する千葉県は、人的資源に恵まれているといえるものの、北西部においては県外へ通勤する者の割合が高く、人材の流出が見られる一方で、東部及び南部地域は県全体の数値を上回る高齢化が進んでおり、産業を支える労働力人口の減少が見込まれています。

県内の雇用実態に目を向けると、1週間の就業時間が60時間以上の雇用者の割合は、10.2%と全国平均(9.6%)より高く、年次有給休暇取得率についても、50%台に留まるなど、2020年までに前者を5%、後者を70%とする国の目標にはほど遠い現状にあります。

また、育児をしている25歳から44歳までの女性の有業率は46.7%と全国平均の52.4%より5.7ポイント低く全国第43位に留まっています。

さらに雇用者に占める非正規労働者の割合は全国で37.4%に上り、このうち正社員として働く機会がない不本意非正規労働者は16.9%となっています。

これらの状況を改善し、地域社会を活性化するためには、働きやすさと働きがいのある雇用環境の実現に向けてオール千葉で取り組んでいく必要があります。

私たちは、本日の「ちばの魅力ある職場づくり公労使会議」において、この認識を共有するとともに、県内の企業、自治体、各団体等とも連携しながら、固い決意をもって次に掲げる「働き方改革」を積極的かつ継続的に推進することを宣言します。

- 1 労使の意識改革を図り、時間外労働の縮減や年次有給休暇の取得を促進します。
- 2 若者、女性、高齢者、障害のある方々などすべての県民がその持てる能力を最大限に発揮でき、“働くこと”に幸せを実感できるような「働きやすさ」と「働きがい」のある雇用環境を整備します。
- 3 不本意非正規労働者の正社員化やキャリアアップ支援等を通じて企業の生産性と競争力を高め、地域経済を活性化し、魅力ある千葉県を創出します。

平成28年9月26日

ちばの魅力ある職場づくり公労使会議

日本労働組合総連合会千葉県連合会会長

一般社団法人千葉県経営者協会会長

千葉県中小企業団体中央会会長

一般社団法人千葉県商工会議所連合会会長

千葉県商工会連合会会長

株式会社千葉銀行取締役頭取

千葉信用金庫理事長

千葉県知事

千葉労働局長